

## 第2回CSJ化学フェスタを終えて 「化学フェスタは面白い。役に立つ。何かあるかも。」を目指し

### はじめに

第2回CSJ化学フェスタが10月14日(日)～17日(水)の4日間、東京工業大学大岡山キャンパスで開催された。「未来を創る最先端研究」,「化学で創る未来材料—若さで挑戦—」などのフェスタ企画, 学生ポスター発表, 企業R&D紹介企画などに昨年を大幅に上回る約1,700人の参加者があり, 産学官交流の場として大いに盛り上がった。

### 全国規模に拡大

化学フェスタは日本化学会の秋季事業として, “産学官の交流深耕” “化学の社会への発信” を目的に2011年11月に第1回を開催した。フェスタの特徴は学界と産業界がともに関心のある課題をテーマとした「フェスタ企画」, 近接したスペースで開催される「学生ポスター」と展示ブース・セッションの「企業R&D紹介企画」, 「世界一早いノーベル化学賞解説講演」などの広く一般の方々を対象とした公開企画である。



フェスタ企画その1



フェスタ企画その2

第2回のフェスタ企画は「未来を創る最先端研究—化学のオープンイノベーションが日本の未来を切り拓く!—」のテーマで, 徹底討論をキーワードに「化学蓄エネの最先端技術動向」(オーガナイザー・佐々木一成九州大学教授), 「革新的触媒の最前線」(同・碓屋隆雄東京工業大学教授), 「次世代太陽光発電の挑戦」(同・瀬川浩司東京大学教授)の3つのシンポジウム・パネルディスカッション, また「化学で創る未来材料~若さで挑戦」をテーマに若手研究者の視点から新しい化学材料や新規素材開発についての講演, パネルディスカッションが行われた。各会場ともにほぼ満席, 立ち見が出るほどの盛況で, 文字どおり熱い討論, 活発な意見交換が交わされた。

学生ポスターも盛況であった。参加大学数が前年度の45大学から82大学に拡大, 発表件数は666件と昨年の2.3倍の大幅増となった。参加者の地域構成が, 昨年度は関東支部だけで85%を占めたが, 今回は関東支部の割合は63%に相対的に減少し, 参加者が全国に波及



学生ポスターその1

する傾向が顕著に見られた。化学フェスタが「全国版」に変化しつつあることを示したと言えよう。ポスターからは最優秀ポスター賞が10数件選ばれ, 11月に発表, 本誌2013年1月号に写真付で掲載する予定である。



学生ポスターその2

### 企業R&D

ポスター登壇者以外の学生参加者も多く, こうした学生が近接したスペースで行われていた企業R&D紹介ブースに訪れ, 企業の研究開発戦略, 開発事例などについて質問, 企業からの参加者も丁寧に答える光景がいたるところで見られた。



企業 R&D ブース

企業 R&D 紹介講演にも多くの聴講者が参加、会場前に聞きたいセッションの順番を待つ列ができたほどである。学生の企業を知りたい、企業の知って欲しいというニーズが合致、直接コンタクトできる貴重な“場”の設定ができています。

また、参加企業・機関は 27 社・機関にのぼった。企業以外の機関では北海道大学、東京工業大学、文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム 分子・物質合成プラットフォーム、四国 TLO などのブースも開設、今後こうした機会を拡大していけば産学官の新しい“交流の場”ができそうである。

15 日（月）には東工大学生食堂で行



写真 6 懇親会イベント



企業 R&D 紹介講演

われた懇親会には 330 名の参加者があり、立錫の余地もないほどの盛況であった。元素をベースとしたクイズで各社が提供した商品を手に入れるなど懇親会イベントでも盛り上がった。

CSJ 化学フェスタの特徴の 1 つである公開企画も「化学の社会への発信」を果たすことができたと考えている。今回は“元素を楽しむ！”をテーマに世界の珍しい周期表や実物周期表、結晶美術館などの企画展示、公開講演会では 2000 年ノーベル化学賞を受賞した白川英樹筑波大学名誉教授をはじめ 3 名の講師に講演していただいた。また 15 日には「世界一早いノーベル化学賞解説講演」が行われ、辰巳敬東京工業大学理事・副学長があいさつしたあと、受賞対象となった GPCR（G タンパク質共役受容体）について結晶構造と創薬への応用、最近のノーベル賞の傾向などについて講演が行われた。

このほか連携機関特別企画として「化学人材育成プログラム—2012 シンポジウム & 講演会」（日本化学工業協会）、



公開企画

「新化学技術推進協会奨励研究講演会～将来の化学産業を切り拓く先進技術～」、「産総研特別企画ナノテク分野のホットトピックス—最近のプレス発表から—」が開催された。

### おわりに

第 2 回 CSJ 化学フェスタは成功裏に幕を閉じた。東京工業大学をはじめ、連携機関、ご後援をいただいた各機関の多大なご支援に御礼を申し上げます。また実行委員、支部役員、ポスター審査員の方々の労をいとわぬご協力にも感謝を申し上げます。

今後、「化学フェスタは面白い。役に立つ。何かあるかも。」の期待が定着するようさらに努力していきたいと考えている。

第 3 回 CSJ 化学フェスタは 2013 年 10 月 20 日から東京都江戸川区のタワーホール船掘で行われる予定である。

〔第 2 回 CSJ 化学フェスタ実行委員長  
多田啓司（旭化成）〕

© 2012 The Chemical Society of Japan